

広報 心し

NO. 125

47.12.10 発行

発行・富士市役所

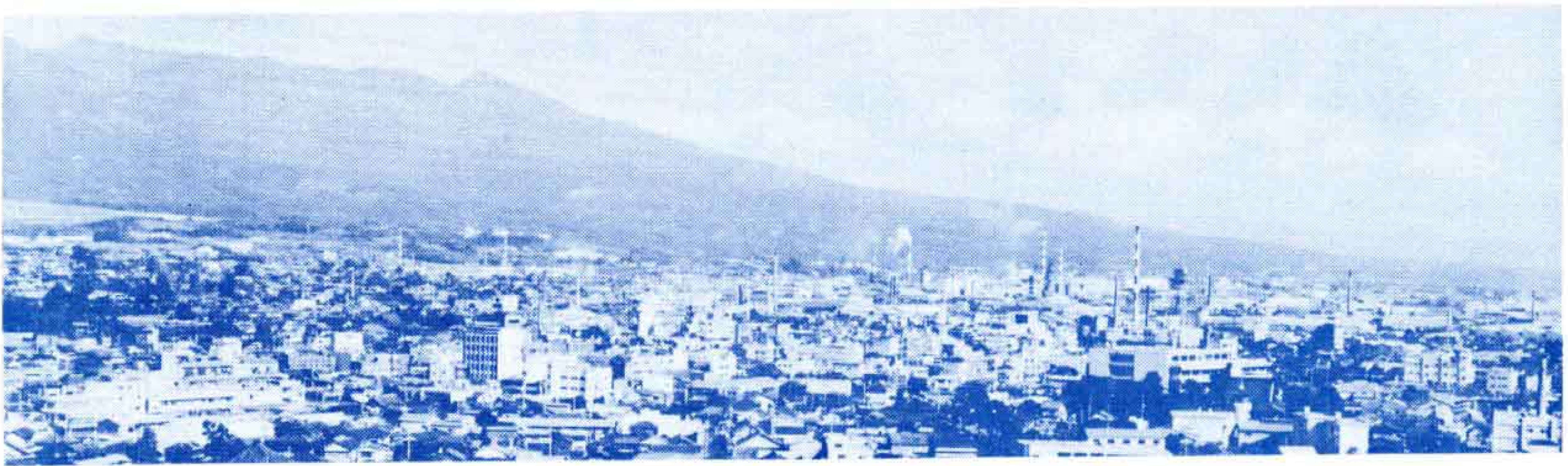
富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



好評だった農業祭の朝市



元吉原中、吉原3中が まだ基準をオーバー

昭和44年10月から47年9月までの3年間のイオウ酸化物測定結果がまとまりましたので、お知らせします。

測定結果を見ると、これまで汚染濃度が最も高かった元吉原中学校の0.068 P P mが0.045 P P m、富士保健所の0.067 P P mが0.041 P P mと全体的に減少しています。また、年間平均の1時間0.05 P P m以下の環境基準についてもすべての測点で適合しています。

月平均値の最高は、昭和44年に富士保健所と元吉原中学で0.104 P P mという驚異的な高濃度を記録しました。しかし本年の月平均最高は、吉原第3中学の9月0.052 P P mで、他の測点については月平均においてすべて0.05 P P m以下となっています。

また、富士市の特性である24時間操業は、昼夜をとわず汚染物質を排出しているので、1日平均0.05 P P m以下の日数

が70%以上という基準の達成を困難にしています。しかし昭和44年には大淵中学を除くすべての測定点で、基準を上回っていましたが、本年9月までの結果では元吉原中学と吉原第3中学を除くすべての測点で、基準を達成しました。

昭和46年からの気象現象は、比較的良く、拡散希釈の効果があつたものと思われれますが、気象条件によつては、まだまだ高濃度が現われます。なお、汚染分布は常に変化しているものと思われるので今泉小学校、伝法小学校に基準観測局を増設し、どの地域においても環境基準の適合をはかるように適切な行政指導を行なつていきます。

自動記録計によるイオウ酸化物測定

(44.10~47.9)

測定場所	測定期間	測定日数	総時間数	1時間値の 期間平均	1時間値が 0.2 P P m 以下の時 間数		1日平均が 0.05 P P m以下の 日数	1時間値が 0.1 P P m 以下の時 間数		
					同	左 (%)		同	左 (%)	
富士保健所	44.10~45.9	314	6.842	0.067	6.799	99.4	88	24.8	5.524	80.7
	45.10~46.9	360	8.298	0.055	8.294	99.9	140	38.9	7.680	92.6
	46.10~47.9	358	8.368	0.041	8.368	90.0	260	72.6	8.203	98.0
吉原第3中学校	44.10~45.9	353	8.155	0.060	8.077	99.0	128	36.3	7.046	86.4
	45.10~46.9	360	8.252	0.048	8.230	99.7	216	60.0	7.740	93.8
	46.10~47.9	361	8.454	0.045	8.439	99.8	251	69.5	8.031	95.0
勤労青少年会館	44.10~45.9	360	8.256	0.053	8.235	99.7	170	47.2	7.646	92.6
	45.10~46.9	360	8.357	0.046	8.344	99.8	235	65.2	7.958	95.2
	46.10~47.9	359	8.366	0.036	8.365	99.9	302	84.1	8.228	98.4
元吉原中学校	44.10~45.9	323	7.117	0.068	7.007	98.4	95	29.4	5.171	72.6
	45.10~46.9	360	8.274	0.054	8.263	99.4	167	46.3	7.420	89.7
	46.10~47.6	361	8.362	0.045	8.358	99.9	216	59.8	7.943	95.0
富士中学校	44.10~45.9	328	7.447	0.054	7.438	99.8	142	43.3	6.799	91.3
	45.10~46.9	363	8.367	0.046	8.359	99.9	213	58.7	7.843	93.7
	46.10~47.9	361	8.287	0.037	8.285	10.0	303	83.9	8.108	97.8
鷹岡公民館	44.10~45.9	331	7.585	0.051	7.577	99.9	170	51.3	7.585	94.9
	45.10~46.9	347	7.985	0.047	7.977	99.9	179	51.6	7.550	94.6
	46.10~47.9	361	8.276	0.036	8.275	10.0	319	88.4	8.163	98.6
大淵中学校	44.10~45.9	224	5.047	0.031	5.042	99.9	195	87.1	5.038	99.8
	45.10~46.9	353	8.075	0.026	8.075	10.0	351	99.4	8.020	99.3
	46.10~47.9	359	8.216	0.025	8.216	10.0	353	98.3	8.180	99.6
環境基準	1年間	365	8.760	0.05 P P m		99%以上		70%以上		88%以上
市内7ヶ所均	44.10~45.9			0.056		99.5		44.2		88.8
	45.10~46.9			0.046		99.9		60.0		94.1
	46.10~47.9			0.038		99.9		79.5		97.5

富士山麓一帯の豊富な雨水や雪どけ水は、マサ層によって、地下になかなか浸透しにくく、ほとんどが地表水として駿河湾に流れ込んでいます。このため、この水を地下水として利用することができないか、市では農林省農業土木試験場土地改良第2研究室長の落合農学博士に調査を依頼していましたが11月29日から1ヵ月間、大淵の落合町と勢子辻の2ヵ所で実験を行なっています。



マサ抜きをすると「水」はよく浸透

山麓の雨水の地下浸透を調査

富士市は豊富な地下水によつて発展してきました。この地下水は、富士山麓一帯に降る雨や雪どけ水が6000年という歴史をへてためられたものです。しかし、工業の特色から豊富な地下水も多量に汲み上げてしまったので、水位が低下し塩水化を引き起すなど、水不足は深刻な問題となりました。このため、人工的な地下水源のかん養を十分検討しなければならない段階になりました。

とくに、富士山の降雨量は年平均2000ミリ程度あるにもかかわらず、富士山麓特有の不透水層となつている「富士マサ地帯」が分布しているため、雨水のほとんどが地表流水となつて駿河湾に流れてしまいます。

この水を地下水として、何とか利用できないか、落合博士に調査を依頼しました。落合博士らによる調査は、一般に富士マサと呼ばれているジャリマサ、エカスマサなどが、雨水の浸透をどの程度拒み、水がどのように流れるかを放射線などを使って実験しました。実験は大淵の落合町と勢子辻の2ヵ所へ、試験地をつくつて行ないましたが、試験地には長さ25m、幅1m、深さ60cmの溝2本をつくりました。1本は富士マサを取り去つて埋めどし、もう1本はそのままにして、溝の中央に5本のアルミパイプを立て、一定量の水を人工的に流し、パイプの中に放射線水分計を入れて、水の浸透幅、

量などを測定しました。

11月29日から3日間の放射線を使つた実験調査では、落合町の場合マサを抜いた溝は浸透性が良く、放水後7分で地下50cmまで達しています。マサを抜かない溝は、放水後1時間たつても、地下30cmにも達せず、横へ浸透してしまいました。勢子辻では、マサ抜きをした溝が36分で地下50cm、マサを抜かない溝は1時間た

つても地下への浸透がほとんど見られませんでした。しかし、測定を打切る直前アルミ管の周囲に「タテ」に空洞ができそこから相当の速度で地下へ浸透しました。この結果、場所によつては、不透水層をタテ穴で抜くことによつて地下水の賦存がはかられることにも実証されました。

マサ層は広範囲に分布

富士山ろく地域のマサ分布面積は、これまでの調査などから98平方kmにわたつていと示されています。この分類としてジャリマサが24平方km、エカスマサが74平方kmと富士宮の山間部から大淵地域に帯状に分布しています。

マサ層は地表から平均3mぐらいの所に層をなし、緊密なので通気や透水性が悪く、作物の成長をさまたげ、干害、湿害を起し、土壤の侵蝕を招きやすく、農業に大きな障害となつています。

富士西ろくのマサは火山砂れきと玄武岩質で表面は黄色、赤褐色、黒灰色などで、岩石のような硬化したものもあれば指で簡単に砕くことのできるものもあり層の厚さは平均50cmぐらいと思われまそれでは、ジャリマサとエカスマサの特質は—

ジャリマサは火山砂れき層または火山泥流砂れき層で、きわめて固く、なかにはコンクリート状のよになつていものもあります。火山砂れき層の大部分は、円状の砂で形成されています。厚さは場

所により数m以上のものもありますが、平均50cmぐらいの層になつています。

砂れき層のうちでも強く固まつているのは、上部だけであり、特に地表に近い部分にこのような傾向が見られます。分布地域としては、富士宮市の上井出付近から万野新田原、大淵中野付近まであつて、比較的広い扇状地をなしています。

エカスマサは玄武岩質のスコリア層が緊密化したものと、堆積後移動して他の土層とまざり緊密化したものなどがあります。表面は小起伏に富むもので、山ろくの降雨量から見て、水蝕による移動集積はかなり活発に行なわれるものと考えられます。また、スコリア粒子はきわめて風化が進み他の粒子とまじるので、ジャリマサなどと比べると粘土分が多く、固さも少ないので、手で砕くこともできます。粒子は玄武岩質で、黒灰色、コークス状で、風化すると赤褐色となり無数の亀裂ができてポロポロに砕けやすく軽くなる性質をもつています。

社会の敵飲酒運転を追放しよう

飲酒、暴走運転追放市民運動 12月11日～1月16日

「まあ一杯ぐらいは、酒に強いからこのぐらい」と気軽な気持で飲酒運転をする人が多くいます。昨年も飲酒運転による人身事故が95件、酒酔い運転や酒気帯運転で逮捕された人が356人もいました。

このように飲酒運転による重大悪質な事故がいぜんとして後をたちません。飲酒運転で事故を起すと、被害者には莫大な損害賠償金を支払い、さらに懲役、罰金が科せられ、免許証は取消されます。また、運転することを知つていて飲ませた人も共犯となり処罰の対象となります。

特に年末年始は飲酒の機会が多く、例年飲酒運転も増加します。また、道路不正使用や違法駐車なども多くなり、これらが原因となる交通事故が多く発生します。このため、市民総ぐるみで飲酒運転を追放し交通事故をなくす「飲酒、暴走運転追放市民運動」を12月11日から1月16日まで行ないます。

運動は社会の敵飲酒運転の追放、暴走運転の追放を重点に進めていきます。そこで、運動の

初日に当たる12月11日と中日の12月26日、最終日の1月10日を交通安全街頭呼びかけ強化の日として、街頭での呼びかけ、暴走運転の監視、交通マナーの指導などを積極的に行ないます。また、12月11日と1月6日には、午後7時から各地区でヘルメット着用や、自転車の無灯火指導を行ないます。このほか、東名富士インター入口で流入車両の整備点検、小学校5年生が自分で書いた手紙を学校付近の交差点で渡すレター作戦などを行ないます。

市民の皆さんこの運動を機会に、私たちの町から飲酒運転や暴走運転を追放し交通事故防止につとめましょう。

運転者のみなさん、車を運転する時は絶対に酒を飲まないでください。



【路上駐車は交通渋滞のもとです】

田子浦臨港線の立体交差がまもなく完成

田子浦臨港線の東海道線をまたぐ立体交差がまもなく完成し、12月25日から使用できます。

静岡県は田子の浦港から東名高速道路富士インターチェンジまでの幹線街路事業の一環として、東海道本線の立体交差化を行なっていました。工事は昭和45年4月に着工し、1億4850万円の工費を投じて進めていましたが、まもなく完成します。

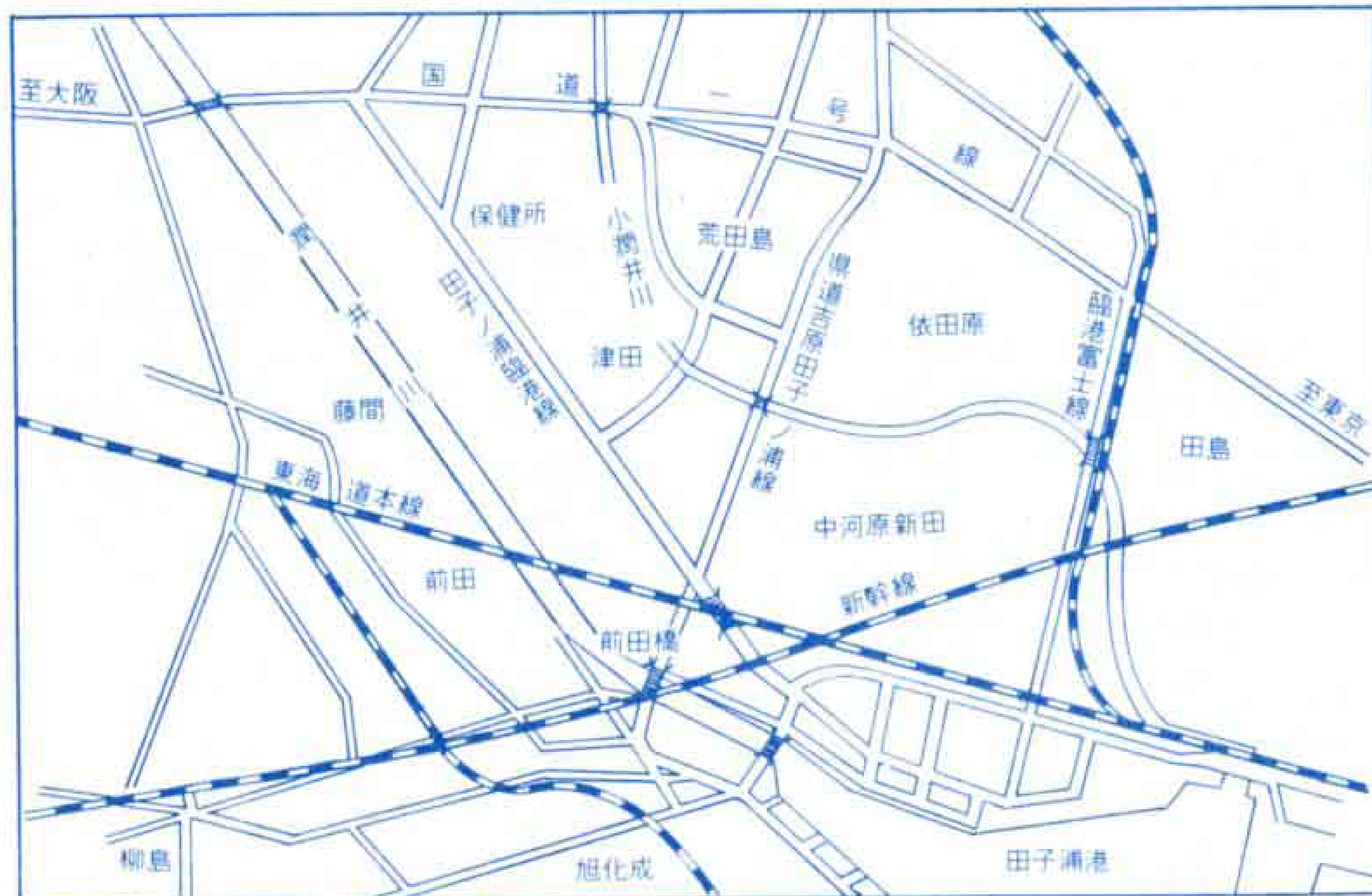
立体交差が開通すると、田子浦臨港線は、港を起点に富士保健所前から青島交差点までの1500mが完成します。この道路は、田子浦地区方面や港へ出入するダンプ、トラックなどで1日約2000台余り通行しています。この完成によつて前田付近の交通緩和はもとより、産業経済の発展にも大きな期待がよせられています。

田子浦臨港線は、将来国道を横断し、高島から瓜島を通り東名まで総延長約3.5kmの道路となり、港と東名を結ぶ重要な道路になります。な

お、高島地先から瓜島地先までの区間は、依田原新田土地区画整理事業の幹線道路として、昭和49年度以後に着工する計画です。



田子浦臨港線案内図



歳末たすけあい運動

みんなそろって明るいお正月

みんなそろって明るいお正月を迎えるために、今年も歳末たすけあい運動を行なっています。たすけあい運動は、昭和34年以来、10月1日から12月31日までの3カ月



にわたって行なわれる共同募金運動の一環として、とくに12月を重点的な運動月として実施されてきました。

歳末たすけあいを一般に呼びかけるようになったのは明治41年からで救世軍が街頭に立つて行なつた「慈善鍋」が最初であるといわれています。運動の目的は、恵まれない家庭や身寄りのない老人、親元をはなれて生活している子どもたちに、少しでも明るく楽しいお正月を迎

えてもらうために行なうものです。したがってみなさんの自発的な意志にもとづく善意の持ち寄り運動です。

たすけあいの金品は、富士市社会福祉協議会（市役所1階）で、12月31日まで受け付けています。みなさんの暖かいご支援とご協力をお願いします。

なお、歳末たすけあい運動によって集められた善意の金品は、社会福祉協議会を通じて年末に越年資金やお年玉、お見舞のほか、下着類、学用品、毛布などとして贈ります。

健康優良児表彰

板倉木綿子ちゃんら30人を選ぶ

健康優良乳幼児表彰を11月24日行ないました。今年の該当者は、46年4月1日から47年3月31日までに生まれた乳児4012人で、9月18日から10月13日までの乳児健康診査で45名を選び出し、11月11日の最終審査で30名に決まりました。30名のうち25人が長男や長女でした。

審査員の秋山医師は「最終審査に残つた乳児は、全員が健康そのもので、30人を決めるのに苦労した。また選ばれたほとんどが長男や長女なのは、はじめての子どもほど両親が育児に熱心なことかも知れない」といつていました。健康優良児に選ばれた30名は次のとおりです。

清智子（八王子町2・貞昭） 渡部道也（水戸島本町・和夫） 佐野浩子（元町・清） 箱田砂織（中島・正巳） 田島理香（駿河台・明） 齊藤静香（中桁・章彦） 岩崎孝之（高島町・演夫） 土田直起（三日市・博） 稲穂俊徳（依

田原町・松男） 荻沢成昭（久沢・章男） 山田史武（松岡・武治） 吉川美穂（宮島・照雄） 板倉木綿子（横割・勉） 青木隆幸（錦町・勉） 船山努（松岡・利光） 望月暁久（松岡・康行） 秋山朋

香（中丸・数幸） 伊藤美保（入山瀬・淳） 木村崇（中里・博） 高橋ひろみ（本市場・幸助） 村上亜矢子（厚原・裕二） 渡辺晃司（松岡・由公） 田村哲哉（森島・勝彦） 奈木和正（富士見町・正文） 栗原明美（今泉9・忠治） 伊藤壘（今泉2・五郎） 小林真理子（蓼原・肚） 田中和子（一色・一） 秋山記代子（吉原2・喜一） 杉沢きよみ（蓼原・敏□）

※カッコ内は住所と保護者名です。



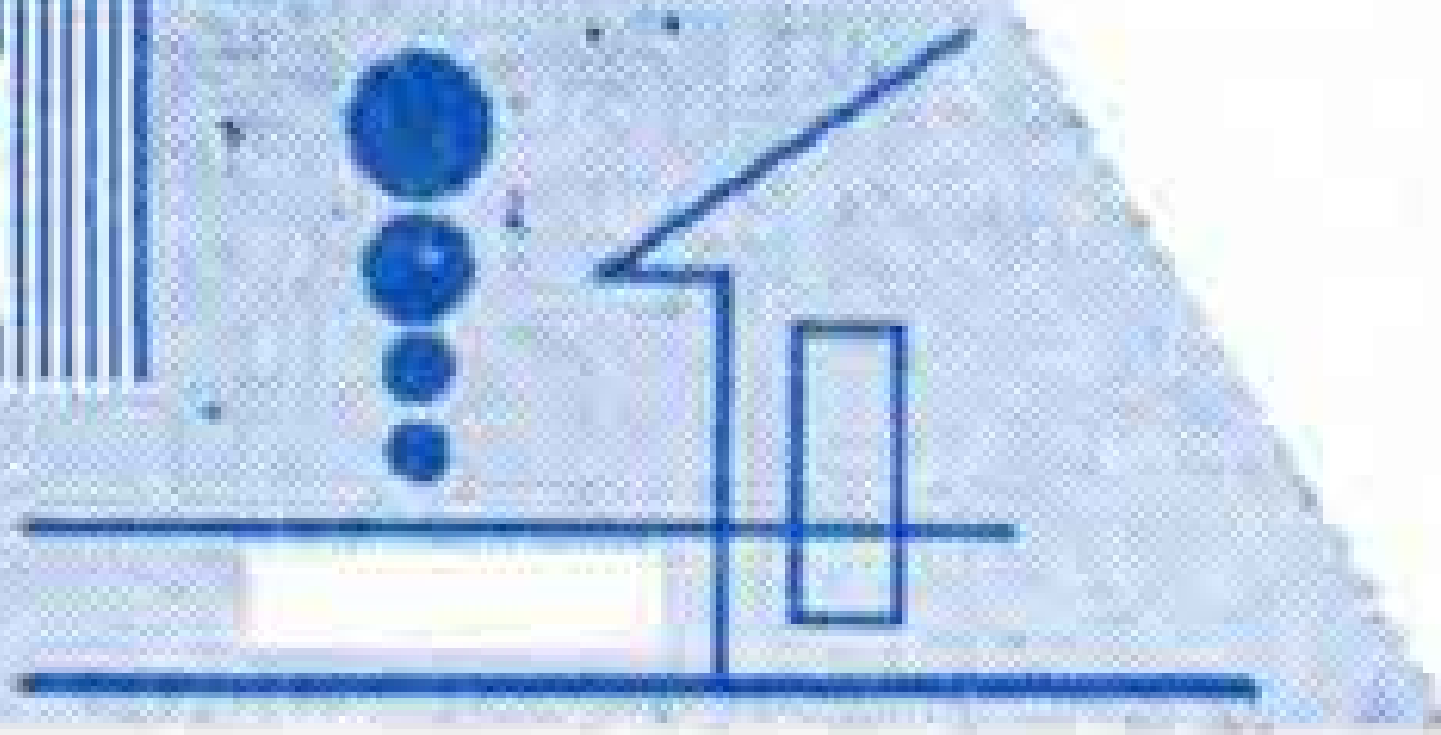
【長男や長女が多かつた健康優良児】



社会福祉センターの 利用者が1万人突破

社会福祉センターが9月14日開館以来、毎日150人以上の利用者でにぎわっていますが、11月29日1万人を突破しました。1万人目の利用者は、瓜島の楠木会老人クラブの石川とくさんでした。なお、福祉センターでは石川とくさんに記念品を贈り、利用者1万人をお祝いました。

市政モニター提言



住民の意見を取入れる 「生きた市役所」に

日ごろ私たちは、市役所にいろいろな希望もし、苦情もいう事があります。そのつど、いつも感じる事は、態度が親切でないという事です。終戦後「公僕」という言葉が、よく使われるようになり、住民には心良い感触を与えたものであります。

市役所職員の現在の態度は、希望や苦情をいう者を敵視し、自分たちの意見や計画をすこしも変更することがないように見受けられます。それは、かたくなで住民の意見を取り入れることは、自分たちのプライドに傷つくとまで考えているむきが察せられます。時には、こちらが何も言わない前から一何の要件について意見をいおうとしているかも知らないで一突然にかみついてくる職員もあり

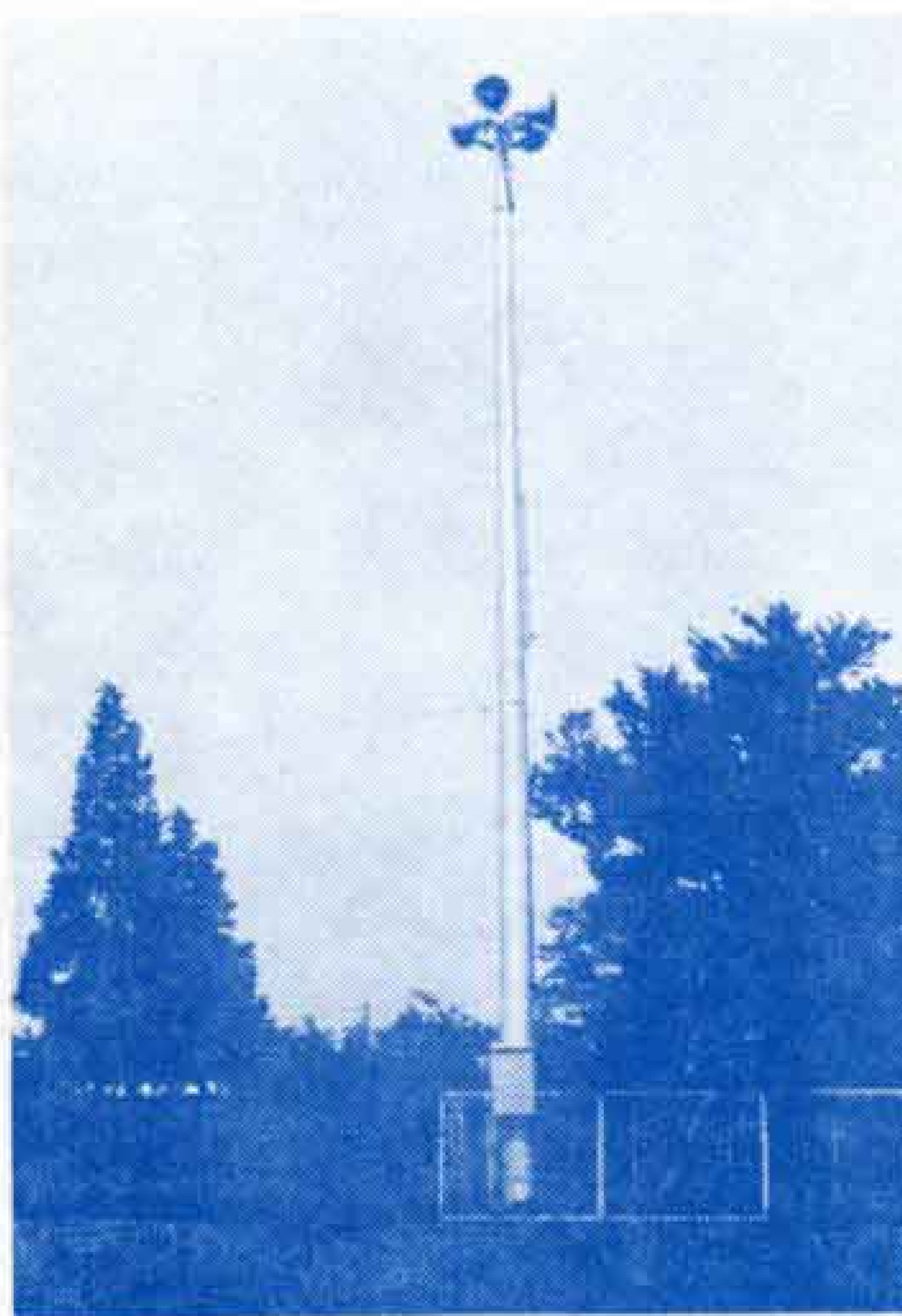
ます。役所が住民の意見を聞く会やアンケートを取っているのを私は知っています。しかし、日ごろ住民の意見や苦情の中の正しいものは、積極的にくみ入れていくことがない限り、おざなりな形式的企画となつてしまいます。

私どもの真にのぞんでいるのは、住民に対する親切な態度であり、意見を取り上げようとする生きた役所の活動です。その一環として、私はどこかの市でやっているような「すぐやる課」の新設を要望します。ここでは、住民のむりな要望にも、時に耳をかたむけると聞きましたもつとも市役所全体が「すぐやる市役所」にならなければいけないと思うが……。
(河内鉄夫・富士町)

ひとこと

無線で子どもたちの 帰宅の呼びかけを

私は、昨年富士市に主人の転勤で引越してきました。その時、とてもうれしく思つたことは朝の7時半と夕方の5時の時報に続くお知らせのあることです。特に幼稚園と小学校の子どもをもつ私は、5時に「小中学生のみなさん、もう5時ですから家に帰りましょう……」という呼びかけのあることです。3人の子供は、その呼びかけで、家へ帰つてくることになつていましたが、最近呼びかけがなくなつたので、帰宅時間がルーズになつてしまいました。市役所の呼びかけのお蔭で、よい習慣がつきとても喜んでいたので残念です。(平垣本町・河崎満里子)



年末年始の

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。急病のときにご利用ください。

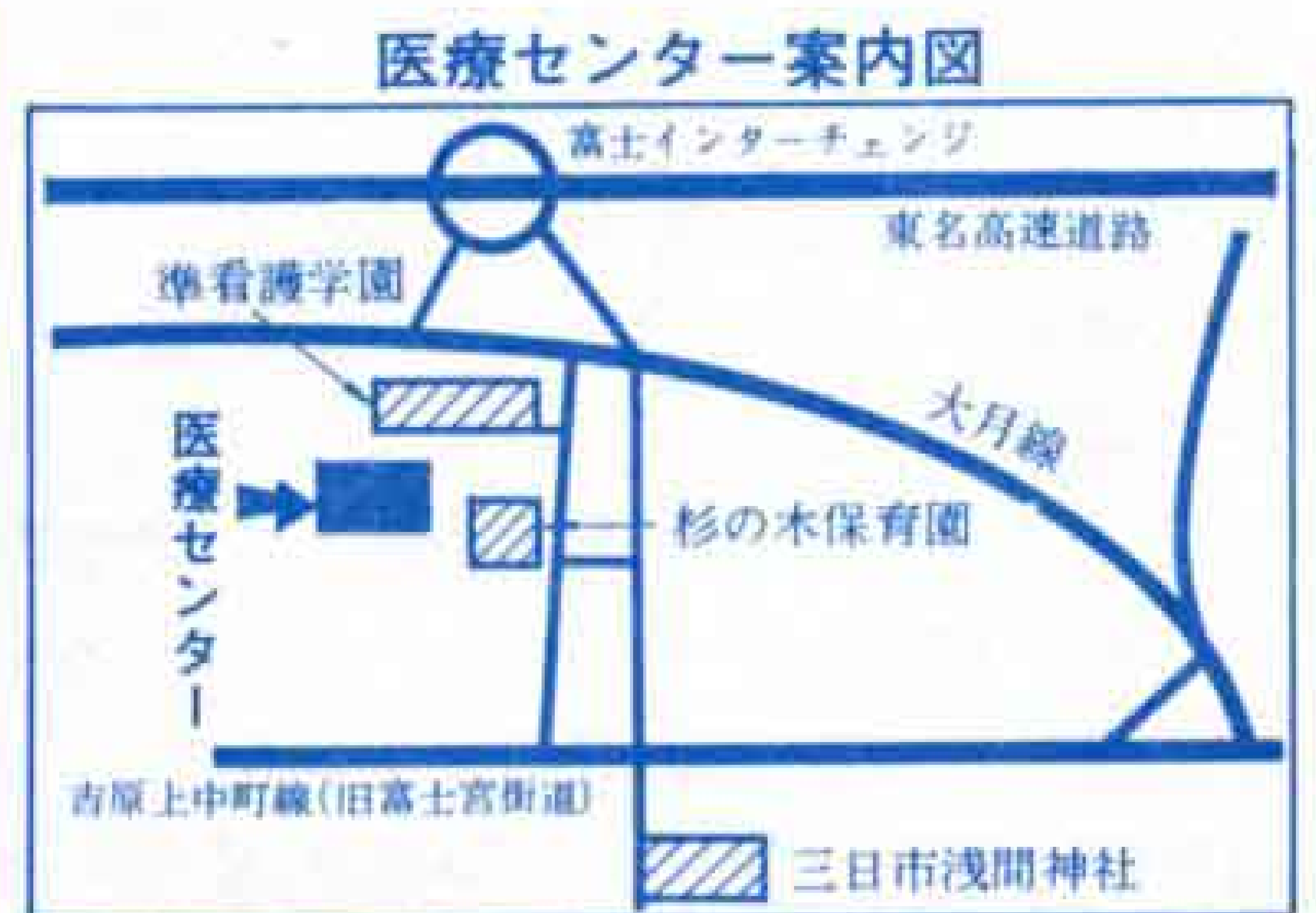
■12月31日
外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
松本医院(久沢東 71-2570)
産婦人科 中央病院
(本市場4区 61-8800)

■1月1日
外科 米山病院(吉原4 52-3060)
宮下医院(平垣3 61-0376)
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■1月2日
外科 渡辺病院(錦町1 51-3751)
清河医院(広見町6 52-6212)
産婦人科 吉見医院
(昭和通り 52-2396)

■1月3日
外科 中央病院(本市場4区61-8800)
米山医院(和田2 52-0275)
産婦人科 北西医院(国久 61-0119)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行つています。診療時間は午前9時から午後5時までです。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。

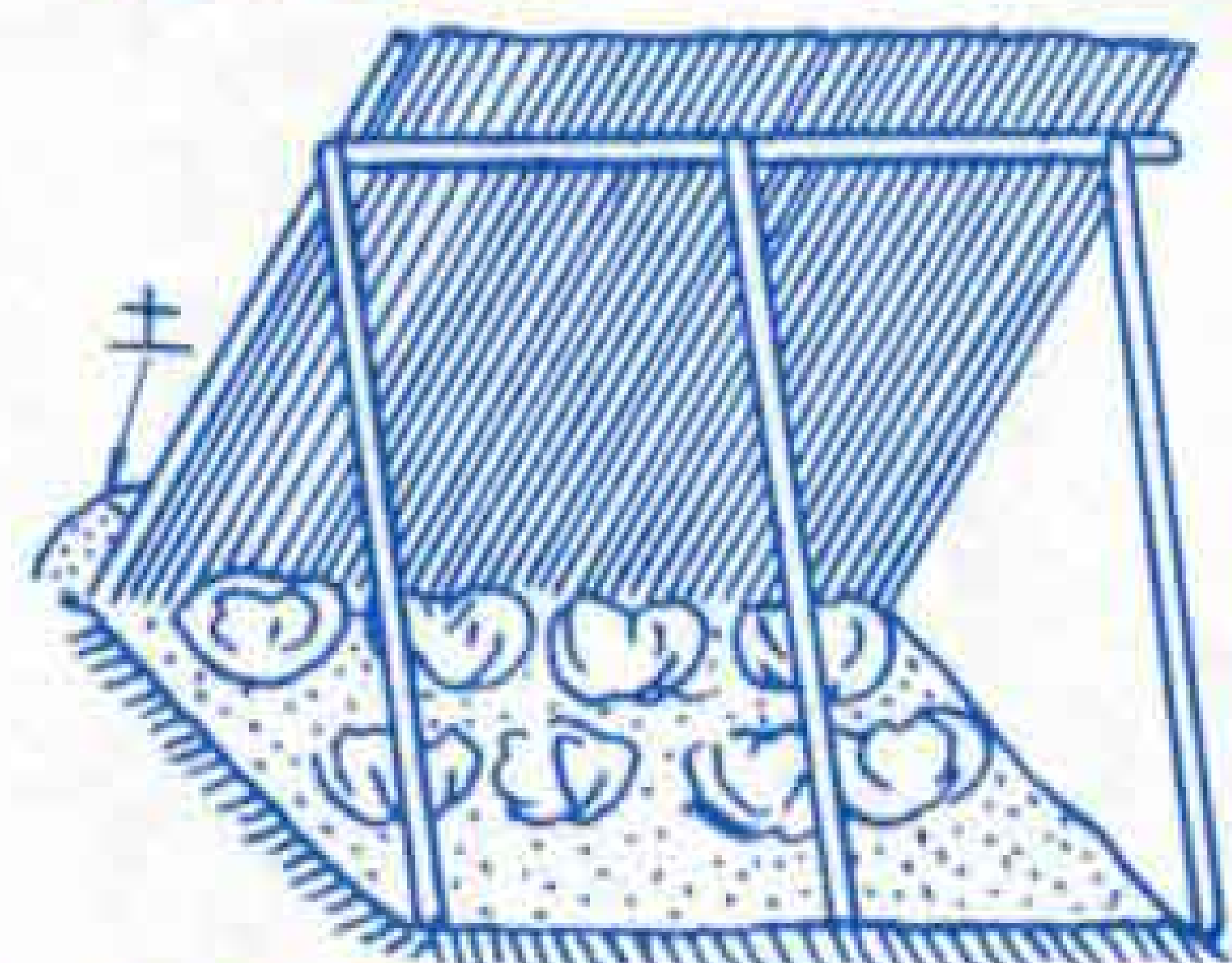
緑と花のコーナー

草花は炭俵でおおいを

古むしろや炭俵などを横に広げ、地中に5割ほど傾斜に入れます。南に傾むけて2割おきぐらいに竹で支柱をします。炭俵は一重だとすき間が

ぎるのでうす霜がおりますから、二重にしてください。ヤグルマソウ、ヒエソウ、ストック、ハナビシソウなどの草花に適します。

古むしろなどの霜よけ





■教育あけぼの展

学校制度が明治6年にできて、今年でちょうど100年目となりましたが、学制100年を記念して、さきごろ吉原市民会館で「富士市教育あけぼの展」が開かれました。明治6年から終戦直後まで、学校で使った教科書や実習道具など1000展余りが展示されました。なかには、終戦直後のスミぬり教科書など時代を物語る教科書や、戦時中の生徒による田植の写真などもあり、年配者にはなつかしく、子どもたちにはめずらしいものとして、目にうつったようです。



■望月さんが全日本剣道大会へ

全日本剣道選手権大会が、12月3日東京の武道館で行なわれましたが、静岡県代表として望月照夫さん（富士アセチレン工業）が出場しました。望月さんは小学校3年から剣道をはじめ、全国大会出場は今度が2回目でした。なお、望月さんは善戦しましたが、おしくも上位入賞をのがしました。

■日ごろの成果を発表

第4回富士市婦人祭が、さきごろ富士文化センターで行なわれました。婦人会のみなさんがグループ活動、婦人学級でつくった作品の展示や、学習、研修の成果を発表しました。【写真は実習コーナーで、フラワーデザインの指導を受ける人たち】



■7才児の集団祝い

7才児の祝いを12月1日、三日市浅間神社、田子浦幼稚園など16会場で行ないました。お祝いをしたのは、昭和41年4月2日から42年4月1日までに生まれた児童で、3226人（男子1651人、女子1275人）です。全員に千歳アメと交通安全のお守りを贈、無事な成長を祝いました。

【写真は渡辺市長から千歳アメと交通安全のお守りを贈られ、大喜びの子どもたち＝元吉原小講堂で＝】





男女とも1中が優勝

富士地区中学校体育連盟の総合体育大会で男女とも吉原1中が優勝しました。男子は野球、バスケットなど13種目、女子はソフトボール、陸上など9種目の総合得点で順位を争いました。優勝校の1中には12月4日渡辺市長から、トロフィーや賞状が贈られましたなお3位までの順位は次のとおりです。

- 男子 優勝 吉原1中 2位 鷹岡中
3位 吉原3中
- 女子 優勝 吉原1中 2位 富士中
3位 吉原2中

冬休みを楽しく過ごすため きまりを守った生活を

もうすぐ冬休みになるけど、みんな元気に学校へ行ってるかい。今年も小・中学校とも12月24日から1月7日まで休みだね。冬休みは15日間と短いけど、クリスマスやお正月と楽しいことがいっぱいだね。遊びすぎるのもよくないけど、寒いからといって外へ出て運動しないのもだめだよ。

冬休み前に学校から、いろいろ注意を受けると思うけど、休みになると忘れる

子がおおぜいいるようだ。みんな学校で注意されたことは必ず守って楽しく冬休みをすごしましょう。また、次のことも注意してくださいね。

■交通事故に注意

自転車の2人乗りや遠のりは危険ですから絶対しないように。国道や県道など交通量の多い道路での自転車のりもしないように。

急な飛び出しやむりな横断も交通事故の原因です。車はすぐに止まらないから、道路を横断するときは、どんな場合でも左右を確認しましょう。

■健康な生活を心がけて

せつかくの休みも病気をしは、つまらないので、毎日の生活を規則正しく、けじめをつけましょう。からだに病気のある人は休み中になおしましょう。

火遊びは

やめよう



■勉強は計画的に

無理のない計画を立てて、きれいな課題を中心に取り組もう。学習はなるべく午前中にすませよう。

■外出はきまりを守って

外出する時は、行先や用件を家の人にいつてからでかけよう。夜おそくまで遊んでいると家の人心配します。くらくなる前に早く帰りましょう。

■火遊びは火事のもと

子どもだけでたき火や芝焼きをすると危険です。昨年も1年間に12件子どもの火遊びによる火災が起つていますから火遊びは絶対にしないようにしましょう。

もし事故や間違いがあつたときは、両親、学校、警察へ連絡してください。



君の身長は平均と比べ……



静岡県の小学生の身長や体重は全国平均にくらべて低いといわれるけど、富士市の小学生の体位はどんなだろうね……。

富士市の小学校3年生の場合、男子の平均身長と体重は125.1

25.0キログラム、女子の平均は124.6キログラム、24.6キログラムなんだ。静岡県の平均体位より低いのは男子の身長と座高で、女子の平均体位は県平均よりだいぶ高いんだよ。ただ、全国平均とくらべると、女子は同じくらいでも男子の平均体位はぜんぶ低いんだよ。身長や体重の平

均も少しずつ増えてきたけど、みんなが大きくなるのと同じように全国の平均も上がるから、差はなかなかちぢまらないんだ。

小学生の場合、1年に身長5~6センチ、体重2~3キログラム増えるから、他の学年も計算すればすぐわかるね。

市の財政を 公表します

富士市公表第3号

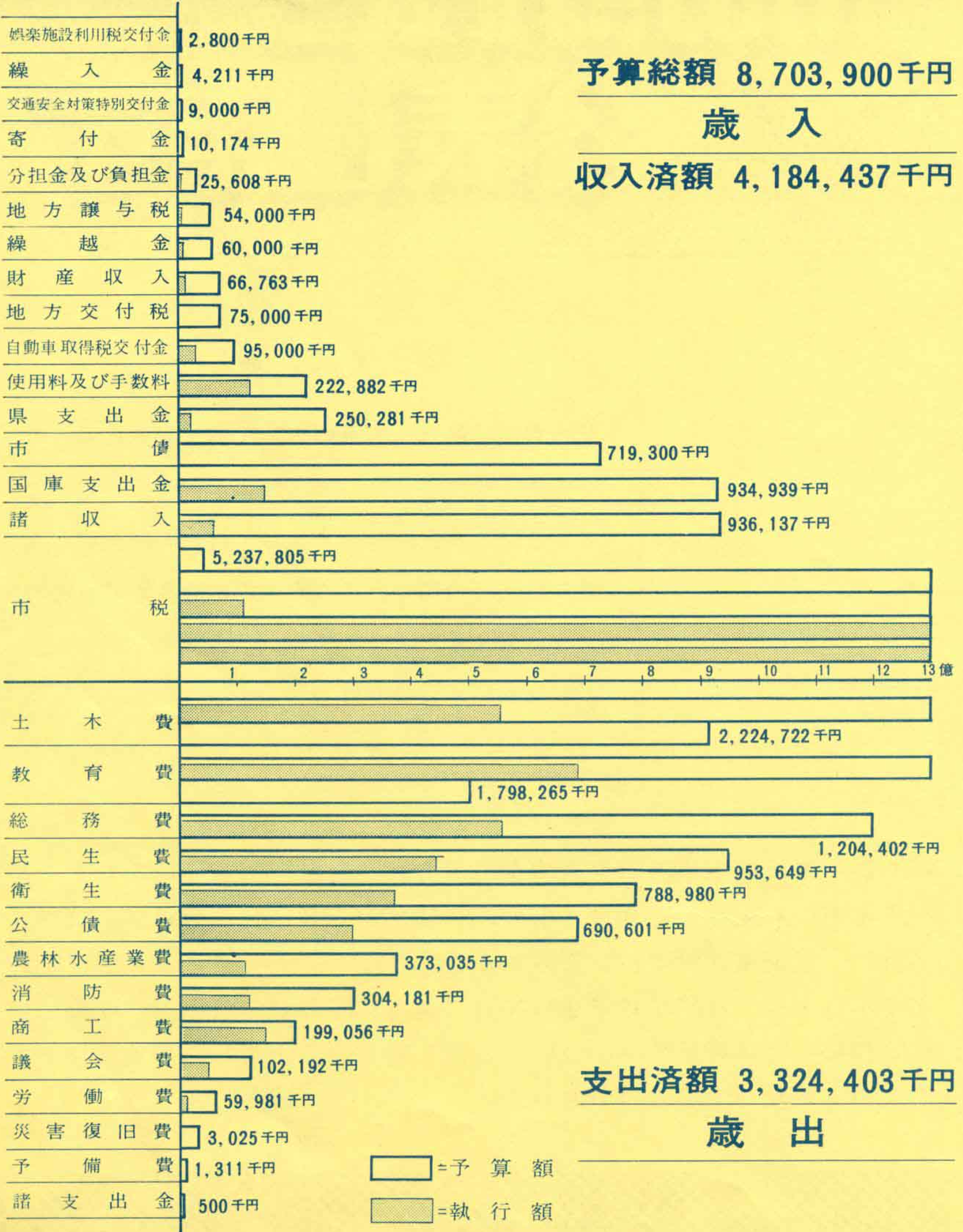
地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく
「富士市財政事情の公表に関する条例」の定める
ところにより、昭和47年4月1日から昭和47年9
月30日までの間における富士市の財政事情を次の
ように公表します。

昭和47年12月1日

富士市長 渡辺彦太郎

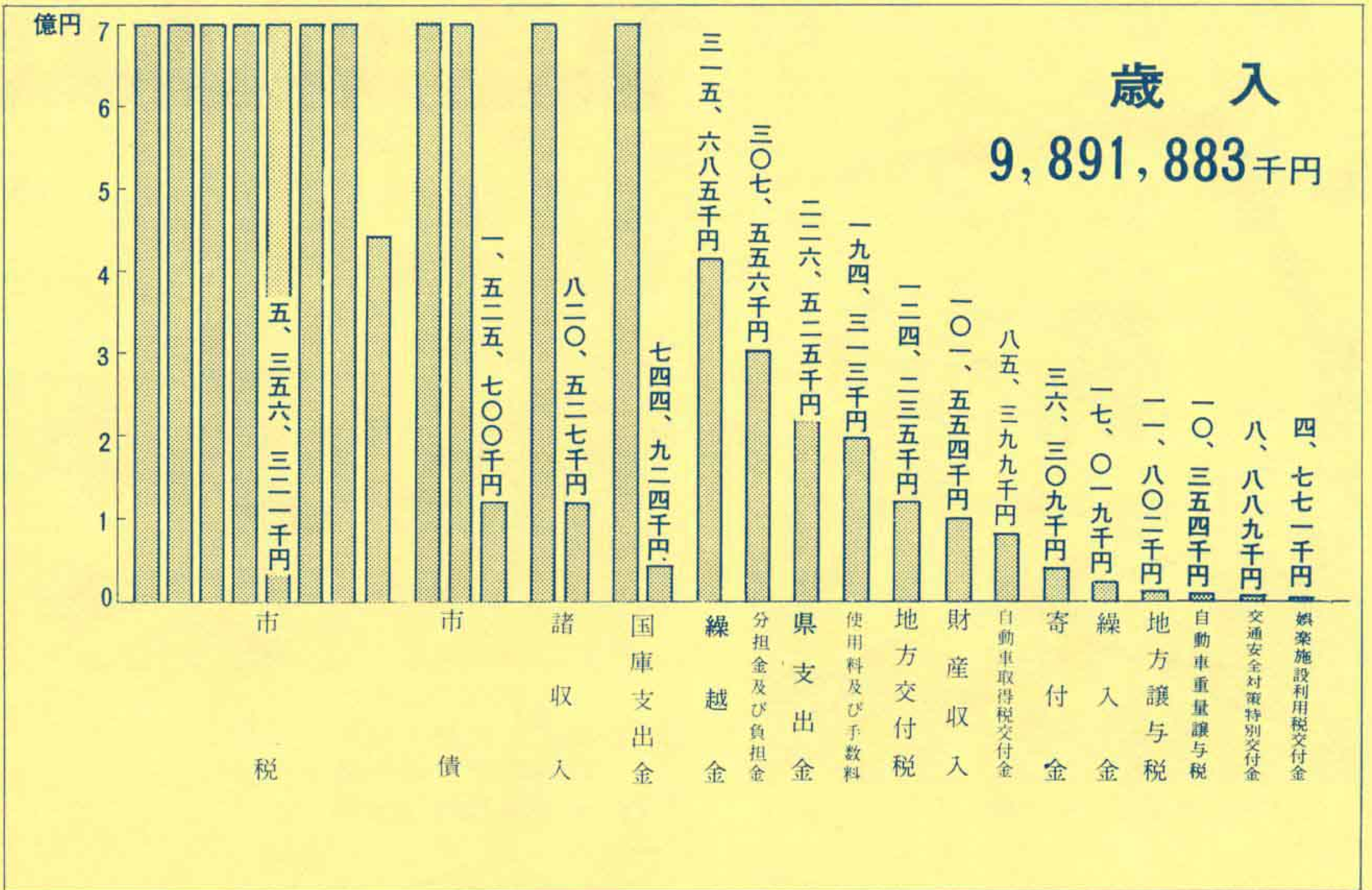
はじめに本市の財政事情を市民の皆さんに理解していただくため
毎年上半期（4月から9月）下半期（10月から3月）に分けて、12月と
6月に「富士市の財政」を公表することになっております。今回は昭和
47年4月1日より昭和47年9月30日に至る、昭和47年度の財政状況並び
に昭和46年度決算見込みについて報告し皆さんの市政に対するご理解と
ご協力をお願いするものであります。

昭和47年度一般会計予算の執行状況

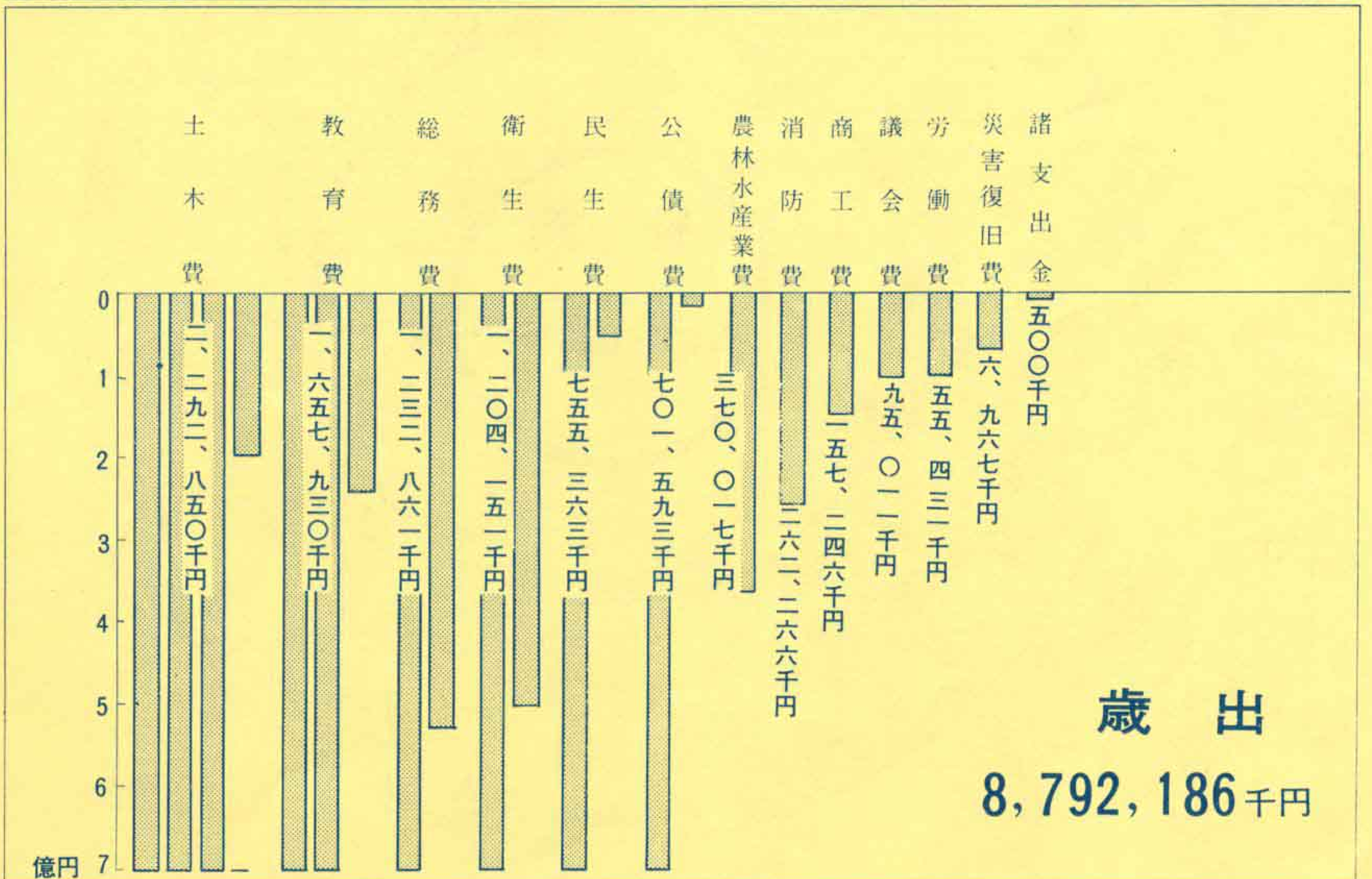


歳入

9,891,883千円



昭和46年度一般会計決算見込の状況



歳出

8,792,186千円

昭和46年度に建



《吉原商業高校生活館》



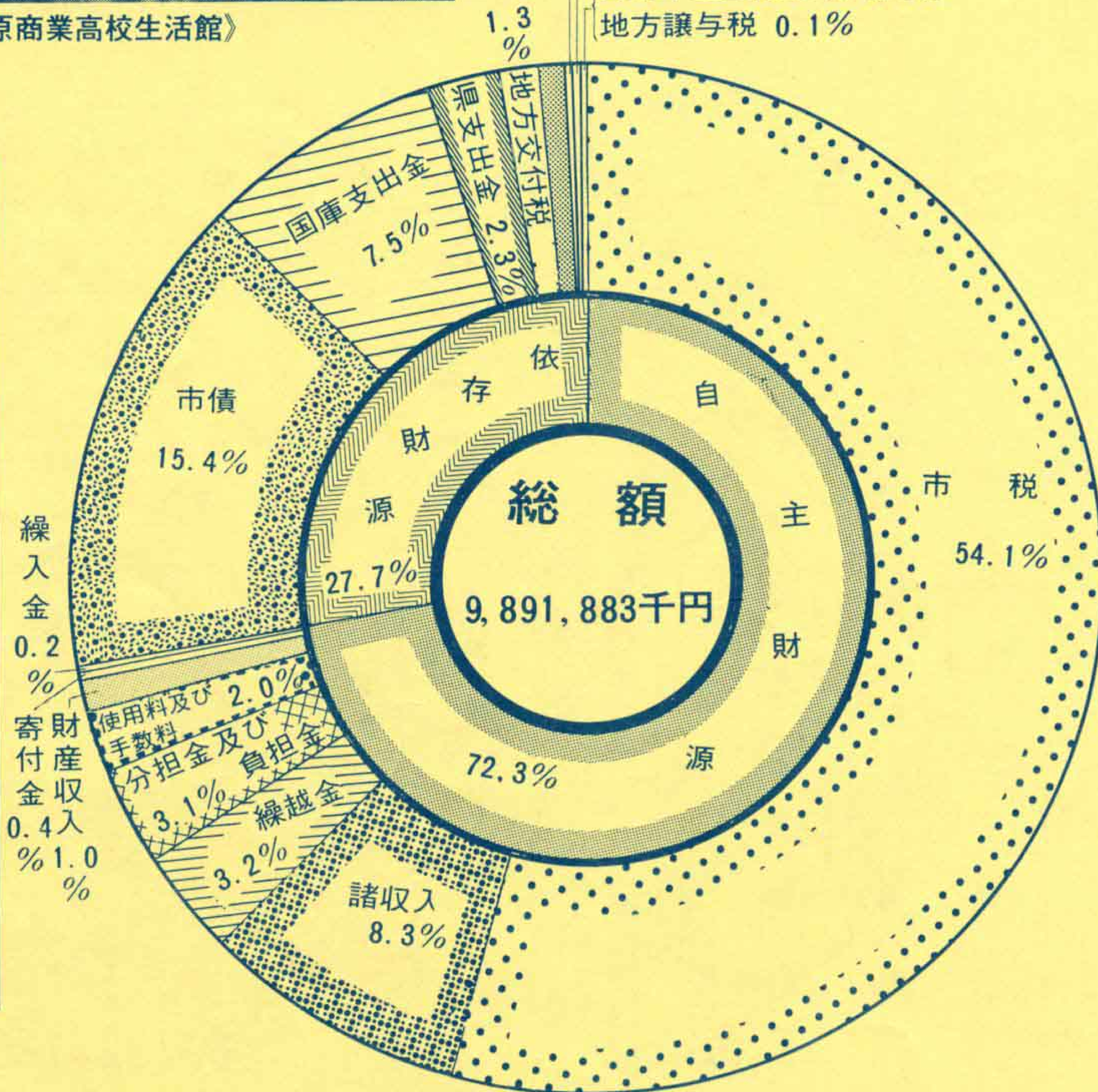
《社会福祉センター》

- 自動車取得税交付金 0.9%
- 交通安全対策特別交付金 0.1%
- 自動車重量譲与税 0.1%
- 地方譲与税 0.1%

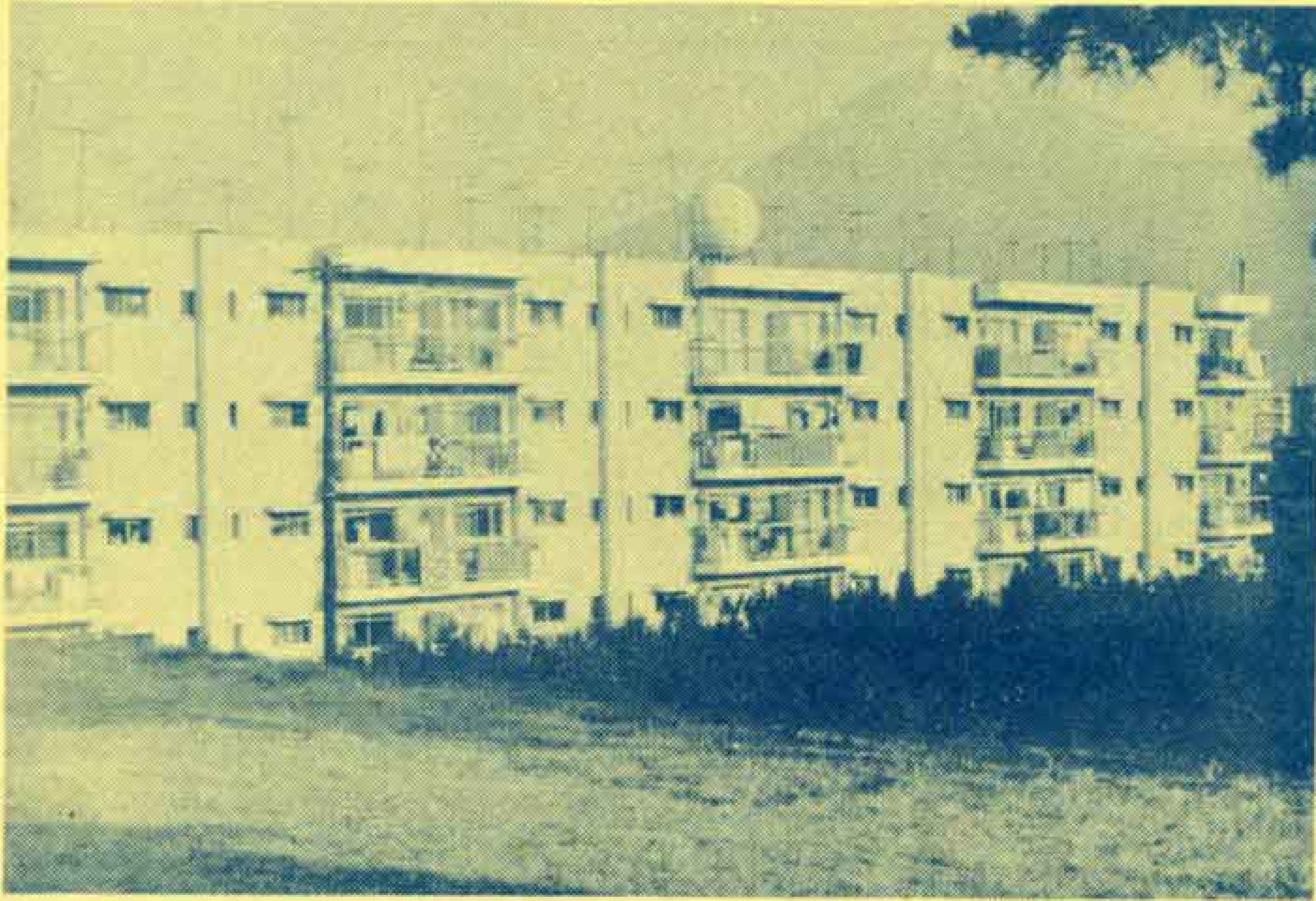
歳

入

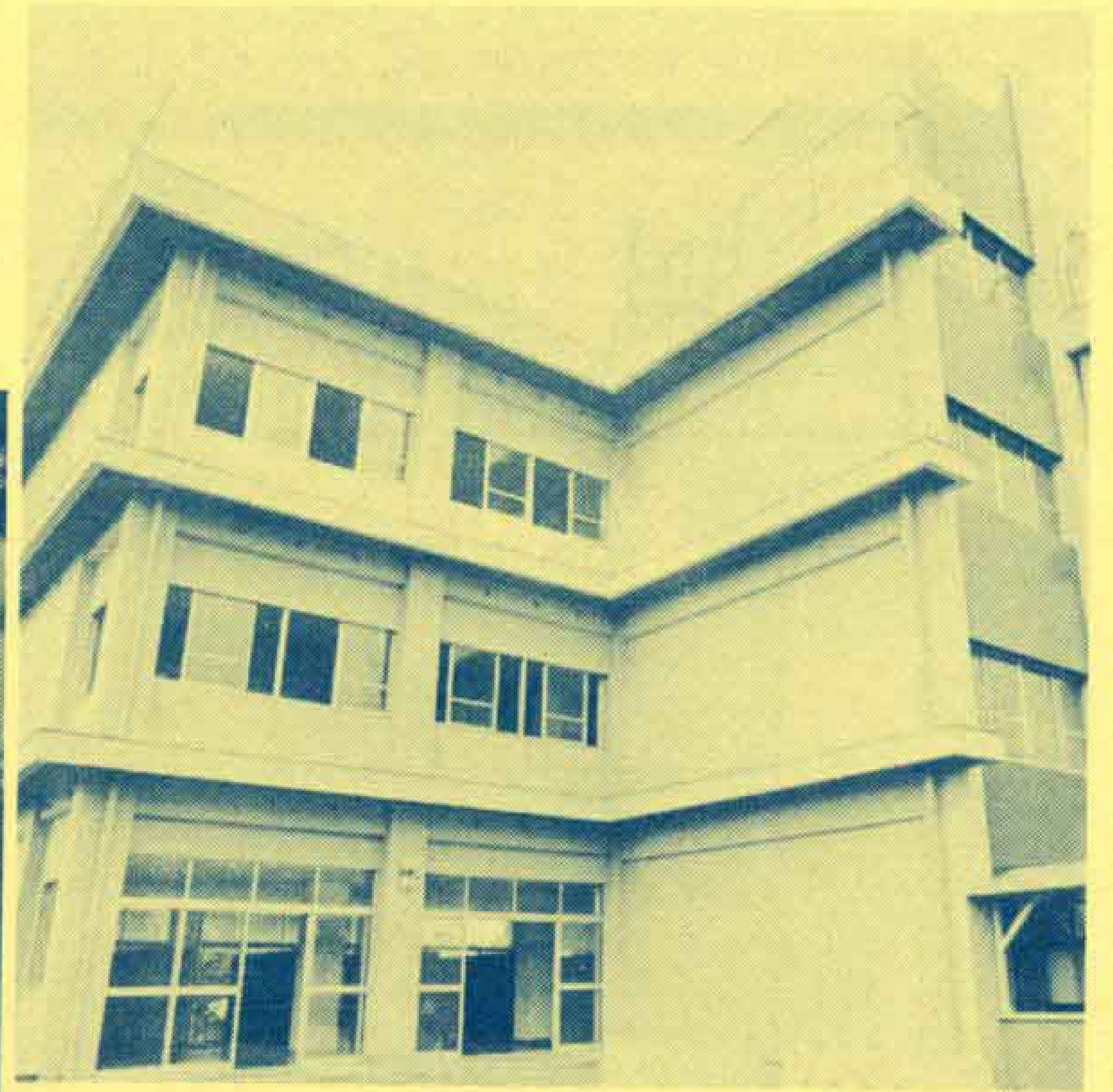
(財源の内訳)



設した主なもの



《四丁河原市営住宅》

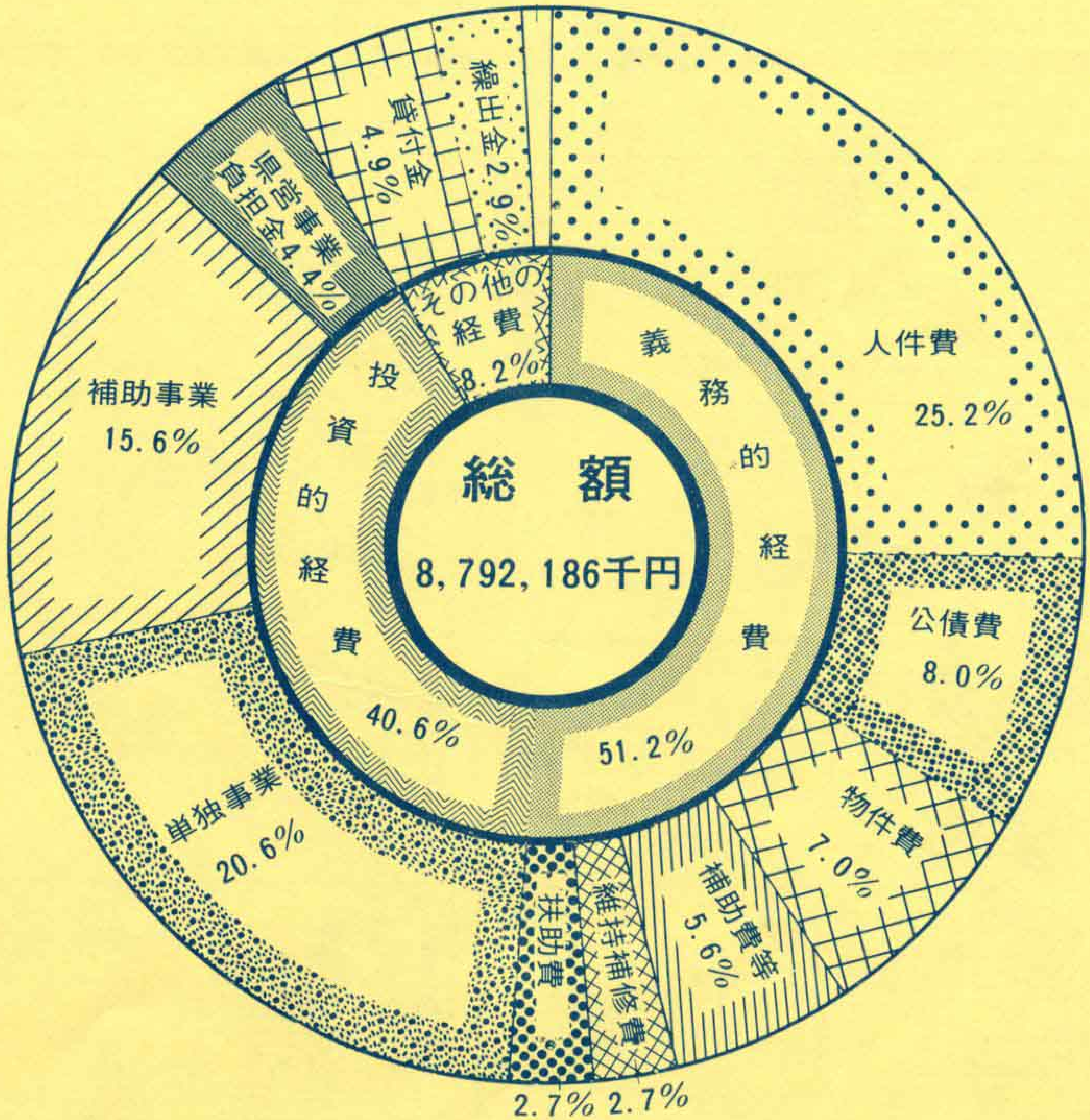


《大淵第一小学校》

財政構造の状況

投資及び
出資金
0.4%

歳
出
(経費の内訳)




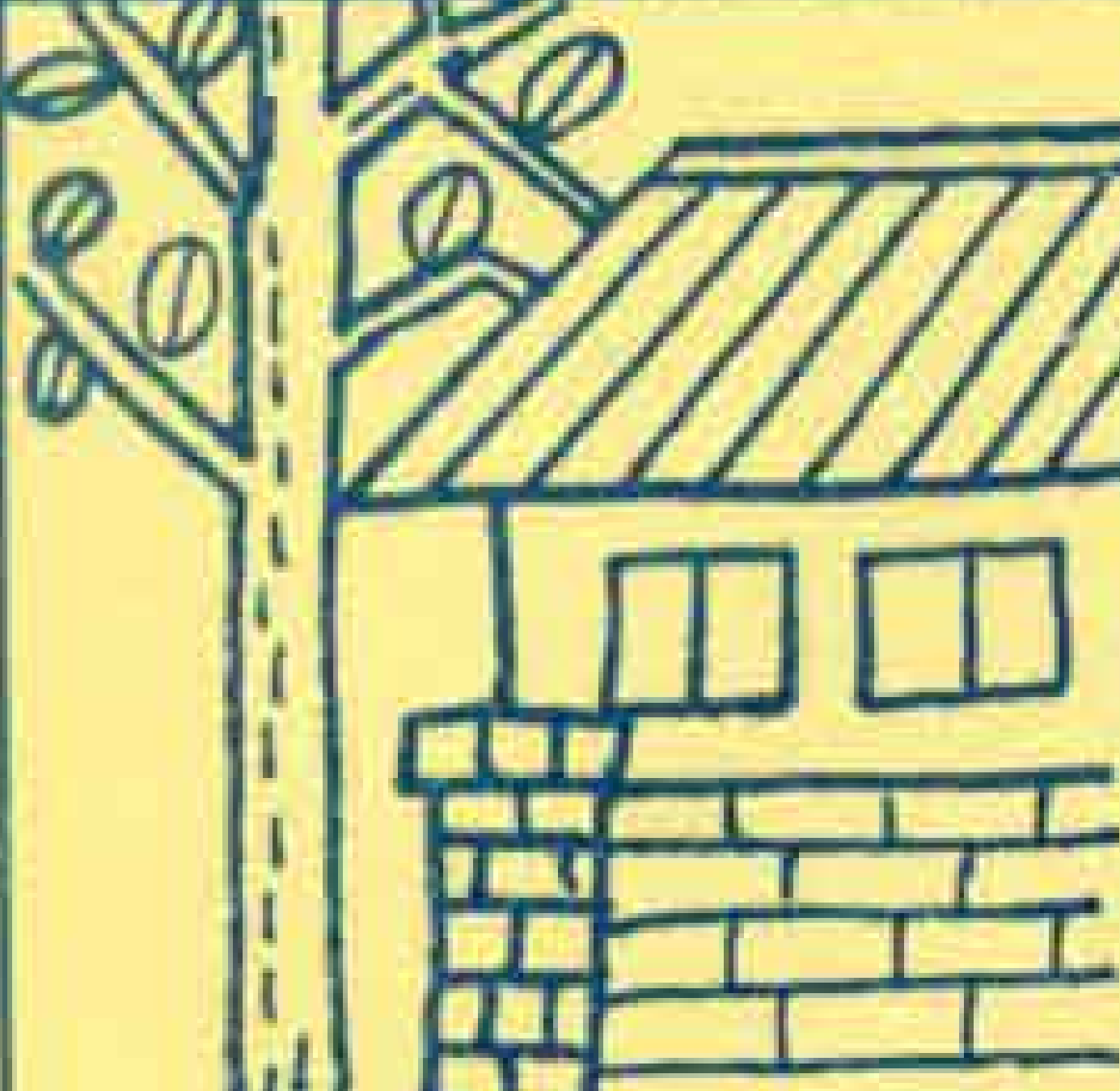

昭和46年度の市税の収入は



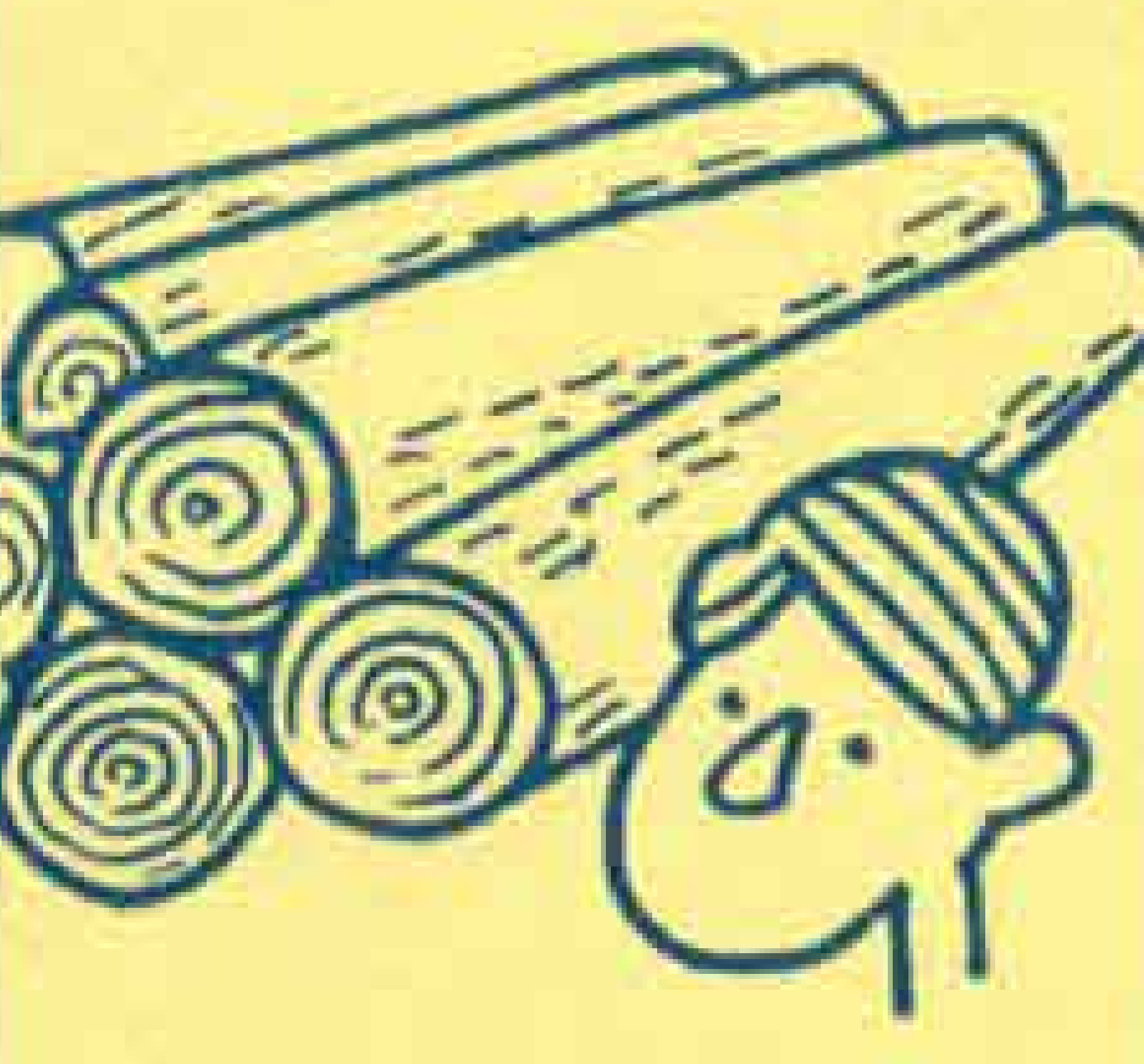

(単位千円)

税 目		予 算 額	決 算 額
普 通 税	市 民 税	1,771,739	1,939,903
	固 定 資 産 税	2,358,008	2,387,630
	軽 自 動 車 税	45,657	46,560
	市たばこ消費税	297,146	300,243
	電 気 ガ ス 税	471,302	475,098
	木 材 引 取 税	703	967
	小 計	4,944,555	5,150,401
目的税	都 市 計 画 税	200,396	205,920
合 計		5,144,951	5,356,321

市民の市税負担状況は

昭和47年3月31日現在
人口 190,874
世帯 52,323

	市民税 1人あたり 10,163円 1世帯あたり 37,076円
	固定資産税 1人あたり 12,509円 1世帯あたり 45,632円
	軽自動車税 1人あたり 244円 1世帯あたり 890円

	市たばこ消費税 1人あたり 1,573円 1世帯あたり 5,738円
	電気ガス税 1人あたり 2,489円 1世帯あたり 9,080円
	木材引取税 1人あたり 5円 1世帯あたり 18円
	都市計画税 1人あたり 1,079円 1世帯あたり 3,936円

水道事業会計46年度決算見込



収益的収入476,500千円 支出439,935千円
 資本的収入634,841千円 支出667,108千円

特別地方債には
 国保などからも
 融資を受けてい
 ます

市では、いろいろな事業をすすめていくために、社会保険や国民年金保険などから融資を受けています。昭和46年度の特別地方債のうち、それらから融資を受けたのは次のとおりです。

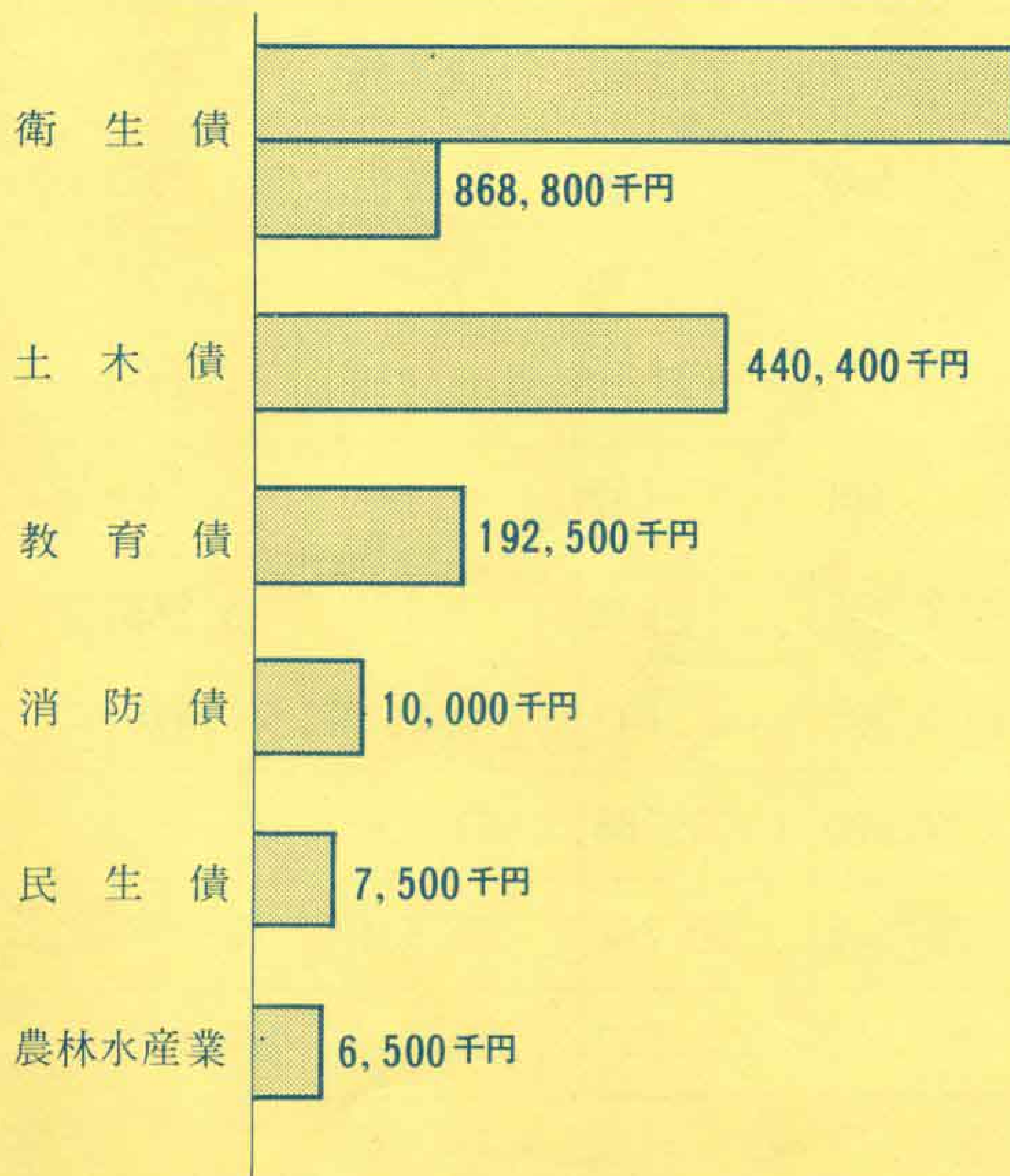
- 国民年金
 第1保育園の建設に750万円。
- 厚生年金
 社会福祉センターの建設に4,400万円。
 第1清掃作業所のゴミ処理施設建設に6,600万円。
 ゴミ収集車の購入に380万円。
 富士柔剣道場の建設に400万円。

病院事業会計46年度決算見込

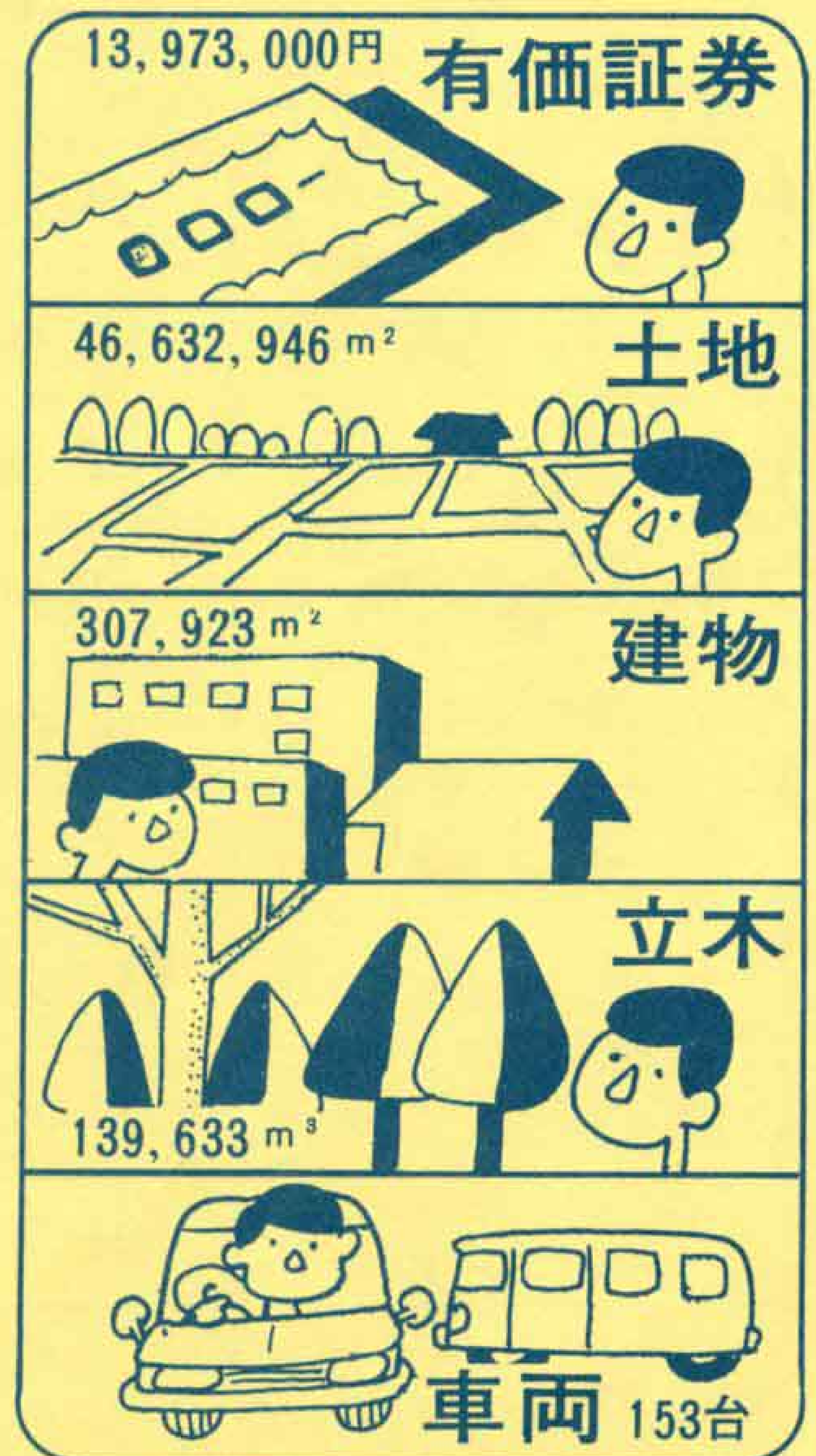


収益的収入806,466千円 支出789,903千円
 資本的収入50,000千円 支出92,069千円

市債の状況 (一般会計債)



市有財産の状況



昭和47年度 各特別会計 予算及び執行状況
昭和46年度 決算見込

会 計 名	昭和47年度 執行状況			昭和46年度 決算見込	
	予 算 額	収入済額	支出済額	歳 入	歳 出
国民健康保険会計	991,900	410,909	326,478	891,450	815,855
下水道会計	248,500	51,354	35,460	304,902	299,151
青島津田区画整理会計	43,000	17,207	6,249	41,253	37,799
依田原新田区画整理会計	421,000	15,500	15,294	251,979	251,149
学校給食会計	41,200	18,026	17,815	40,257	39,237
魚市場会計	4,730	837	664	4,577	1,845
内山会計	25,956	13,042	6,801	35,511	32,726
旧吉原会計	420	0	0	1,501	1,500
旧島田会計	1,300	0	0	1,600	800
旧今泉会計	24,900	21,500	12	31,318	9,250
旧四区共有会計	8,300	251	110	7,281	78
旧元吉原会計	1,260	0	0	2,299	1,310
旧須津会計	1,440	506	159	2,167	923
旧吉永会計	4,800	2,443	618	9,191	5,365
旧原田会計	6,500	4,000	611	6,452	1,625
公共用地会計	654,500	122,100	100,588	567,095	554,752
駐車場会計	24,020	18,630	10,780	20,531	18,203
計	2,503,726	696,305	521,639	2,219,364	2,071,568

(単位千円)